

50代から新たな挑戦

35年間務めたJAを55歳で早期退職した黒田さん。退職後3年を経過した中、新しい生活を考え、自分らしく好きなことに挑戦することを決意し、酒場「新川」をオープンさせました。「新川」は、祖父が創業し父が引き継いでいましたが、数年前にやむを得ず廃業。その後、常連客や地元の仲間から店の復活を望む声が多く挙がり、仲間たちの期待に「応えたい」という思いが、黒田さんの背中を後押ししました。



先輩創業者
飲食店経営

酒場「新川」店主
とし ゆき
黒田 俊之さん

初代「仁平さん」、二代目「ようちゃん」の名で親しまれた酒場 常連の店憩いの場「新川」

4月23日で1周年を迎えた「新川」は、懐かしい味をお手頃価格で楽しめるお店として、常連客はもちろん多くのお客さんで賑わっています。黒田さんが消防団副団長を務めた経験から消防団の応援サービスを実施したり、「友の会」を復活させ旅行を企画したりとサービス精神あふれるお店です。



「やってみたい」を実現させた、
先輩創業者と応援者がいる。

Q1 どんなサポートを しましたか？

島田掛川信用金庫では、地域でビジネスをする人を応援しており、さまざまな業種の人があらゆる段階でご相談に見えます。創業では、計画が固まっていけない状態でご相談に来る人が多いですが、黒田さんはメニュー表や業務時間など具体的な経営計画案を持ってきてくれたので、早い段階から詳細なご提案ができました。また、事前にENGAWAから市の



補助金やセミナーの情報が共有されていたので、黒田さんにあった情報を提供することができました。黒田さんの場合のように、当金庫が持つ補助金や支援のご提案だけでなく、各ご相談や状況に応じて市内の他の支援先にお繋ぎすることもサポートの一つです。

担当職員として黒田さんを支援した
縄巻さんに質問してみました

黒田さんの
開業をサポート

島田掛川信用金庫
なわ まき とも のり
縄巻 友紹さん



島田掛川信用金庫
SHIMADA KAKEGAWA SHINKIN BANK

